

# 富士未来学VI

## －テキスト抜粋版（HP用）

---

### テキストの内容

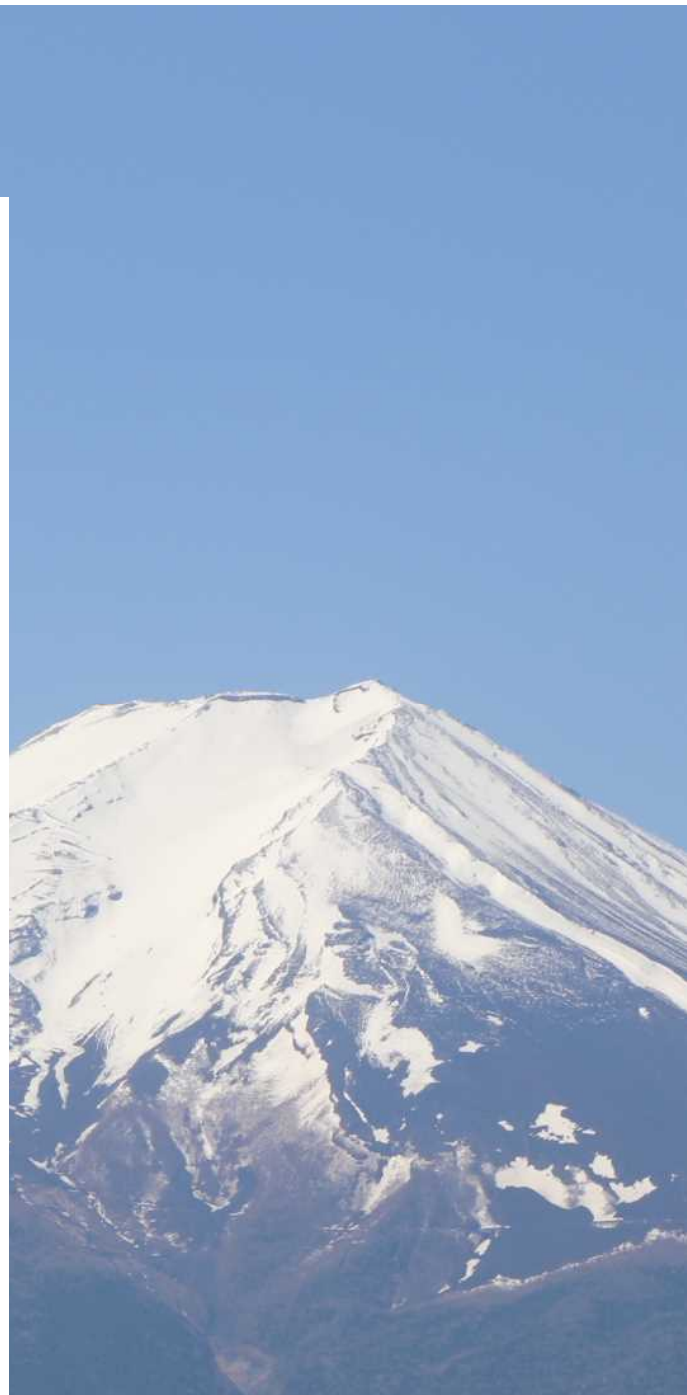
- 1 「富士未来学VIガイダンス」
- 2 「アカデミック・ライティング講座Ⅱ」
- 3 「3年間の軌跡」

高校3学年の富士未来学VIで使用しているテキストの抜粋版です。

---

東京都立富士高等学校

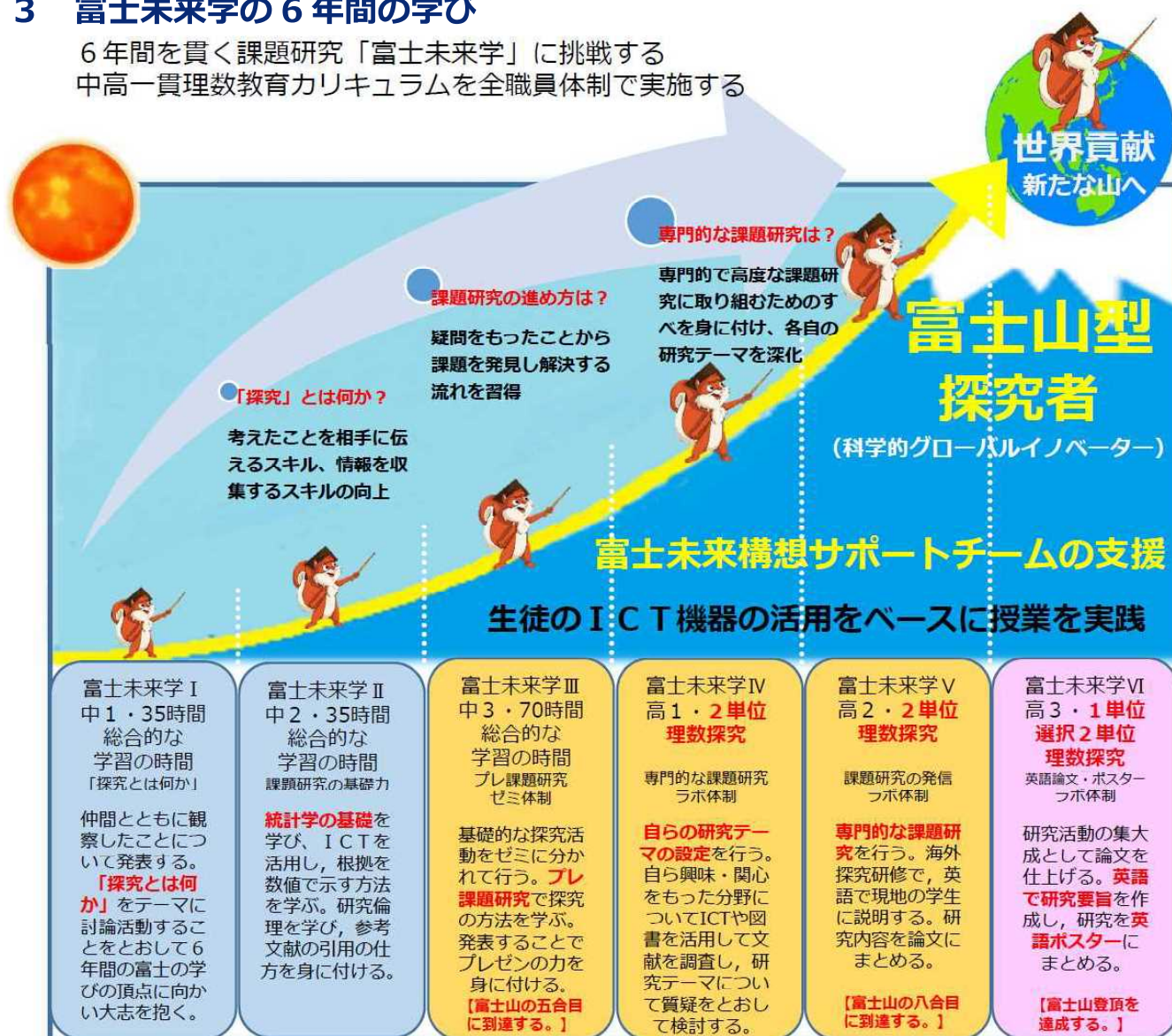
東京都立富士高等学校附属中学校





### 3 富士未来学の6年間の学び

6年間を貫く課題研究「富士未来学」に挑戦する  
中高一貫理数教育カリキュラムを全職員体制で実施する



#### 富士未来学VI 6年間の集大成を外部へ発信、新たな目標に向けて大志を抱く

アカデミック・ライティング講座Ⅱで学習したことを活用して、論文やポスターを英訳し、探究発表会では英語で発表し、探究発表会で得た助言から論文を改善します。6年間の探究活動を「6年間の軌跡」として報告書にまとめ、下級生への還元と、自らの新たな目標に向けて大志を抱きます。自由選択科目では、課題研究をさらに高度に発展させ、学会発表や国際科学コンテストにも挑戦します。将来のノーベル賞受賞への大志を抱きます。

富士未来学VIの学習内容の説明で印象に残ったことを、理由とともに書きましょう。

上の図の中で特に気になった言葉を挙げ、理由とともに書きましょう。



## 4 富士未来学の英語論文の構成

富士未来学では、以下の構成で英語論文を作成します。背景、目的、仮説を導入として書きます（※1）。考察と結論をまとめて書き、今後の課題を含めます（※2）。英語論文の多くは、IMRAD型で構成されます。IMRADはIntroduction, Methods, Results And Discussionの略です。



図3 富士未来学における英語論文の構成

論文はまず構成を設計してから、内容を記述していきます。このことは日本語の論文でも英語の論文でも同じです。自分の主張を他者へ伝えるには、論理的に整理した文章を記述する必要があります。

英語論文の形式（テンプレート）は次ページのようになります。富士未来学では、4ページを基本とした英語の論文の作成を、富士未来学VIの目標としています。

## 9 富士未来学の英語ポスターの構成

富士未来学では、以下の構成で英語ポスターを作成します。英語論文と同様に、背景、目的、仮説を導入として書きます（※1）。考察と結論をまとめて書き、今後の課題を含めません（※2）。



図4 富士未来学における英語ポスターの構成

英語論文と違い、英語ポスターでは視覚的に研究内容を伝えることも重要です。富士未来学における英語ポスターでは、研究概要を目的、方法、結果、考察と結論で構成することとします（2文から3文が適当です）。

口頭発表の原稿を作成するときには、想定される質疑応答も併せて考えましょう。Q & Aを作成し、聴き手とのやり取りを想定しながら、原稿を作成しておくといでしょう。ポスター発表の良さは、聴き手とのコミュニケーションをとりながら、主張したいことを伝えることができる点にあります。聴き手とのやり取りを楽しめるくらいになったら、よい発表ができたと言えるでしょう。



**Title**  
Tokyo Metropolitan Fuji High School 3-C Fuji Hanako

**Abstract**  
**Title**  
 タイトルだけで研究内容・独自性が伝わるのが重要です。  
**Abstract**  
 目的、方法、結果、考察と結論で構成します。2文から3文が適当です。

**Introduction**  
 Background  
 Introduction  
 仮説も図式化することができます。X→Y。  
 Purpose  
 Methods  
 一目で分かるように、写真や図表を用います。  
 Hypothesis

**Methods**  
 Figure  
 Picture

**Results**  
 Figure  
 Table  
**Results**  
 一目で分かるように、写真や図表を用います。  
**Discussion**  
**Conclusion**  
 簡潔に表現します。今後の課題にも言及します。

**Discussion and Conclusion**  
 Discussion  
 Conclusion

**References**

図5 富士未来学における英語ポスターの例



(2) 課題研究をとおして自分の中で変容したことを、理由とともに書きましょう。

---



---



---



---



---



---



---

(3) 課題研究が自分の将来や進路にどのような影響を与えたか、書きましょう。

---



---



---



---



---



---



---

## 2 ルーブリックによる自己評価

育成したい資質・能力	グローバル化時代の教育の課題	評価の観点	評価の対象	高度に達成されている	達成されている	一部に課題あり	自己評価	教員による評価
				<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>		
挑戦力	価値創造	主体的に学習に取り組む態度	1の記述	1 (1) で自分の研究について整理したことから、(2) で自己の変容について記述し、(3) では自己の将来への影響を記述し、課題研究の価値を見いだしている。	1 (1) で自分の研究について整理したことから、(2) で自己の変容について記述しているが、(3) では自己の将来への影響を記述していない。	1 (1) で自分の研究について整理できておらず、振り返ることができていない。または、整理しているが、(2) で自己の変容について記述していない。		

### 引用文献

- (1) 東京都立富士高等学校・東京都立富士高等学校附属中学校 (2021) 『令和3年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施計画書【開発型・実践型】』